

# 野々市市郷土資料館企画展

## ちゅうせい いのり ば 中世・祈りの場

いしかわちゅうおうとしけん こうこしりょうてん  
～石川中央都市圏考古資料展～

いしかわちゅうおうとしけん ののいちし かなざわし はくさんし  
石川中央都市圏は、野々市市・金沢市・白山市・かほく市・  
つばたまち うちなだまち  
津幡町・内灘町の4市2町で構成されています。

この地域は日本海に面した海岸線や霊峰白山を始めとする山々  
の山麓、県内最大河川の手取川や豊かに水をたたえる河北潟など、  
豊富な自然に恵まれてきました。このような環境の下、多くの人々  
が古くから生活し、独自の文化を形づくってきました。その結果、  
じょうもんじだい えどじだい  
縄文時代から江戸時代まで、数多くの遺跡が今に残されています。

今回の企画展は、石川中央都市圏の4市2町が合同で開催する  
考古資料展の第2弾となります。野々市市では『中世・祈りの場』  
と題して、かまくらじだい むるまちじだい しゅつど  
鎌倉時代・室町時代の遺跡から出土した「祈り」や「信  
仰」に関する選りすぐりの考古資料を展示しています。

展示品からは、はくさんろく ききゅう たよう  
白山麓、平野部、砂丘といった多様な環境と社会  
情勢の中で培われた当時の人々の生活や思想、信仰の実態をつぶ  
さに見て取ることができます。

ふるさとの歴史を物語る優品の数々をご堪能ください。

主催：石川中央都市圏歴史遺産活用連絡会

ののいちし かなざわし はくさんし つばたまち うちなだまち  
野々市市・金沢市・白山市・かほく市・津幡町・内灘町